

人権尊重都市鳥取市の実現をめざして

「助けて」と言える社会に～ひとりで悩まずに相談してください～

☎ 本庁舎人権推進課 ☎ 0857-20-3143 ☎ 0857-20-3052



ひとりで悩まず相談を
自分の存在が大切にされ、受け止めてもらえると感じられる場所こそ、自分のありのままの姿を安心して見せることができるのではないかと、思っています。鳥取市の各窓口では、そのような関わりを大切に、安心してご相談いただける環境を整えて、相談者一人ひとりに必要となる支援を制度横断的にコーディネートし、継続的にを行います。また、ご希望に応じて、関係機関への同行や専門相談員へおつなぎします。



切です。「助けて」と声を上げることが、安心して暮らすための第一歩です。何か不安や辛さを感じた時、困りごとを抱えた時、ひとりで悩まずにご相談ください。またみなさんの周りでは、不安や辛さを抱えて悩んでいる人に、窓口の存在をお伝えください。まずは、みなさんのお住まいの近くの相談窓口へ、ご連絡ください。

本市ではこのたび、「鳥取市人権施策基本方針」の第2次改訂を行いました。その中で、人権侵害を受けた当事者に対し、問題解決に向けた相談や支援体制を整備すること、相談に応じる側の資質向上を含め、人材育成に取り組むなど、相談機能の強化を図っています。

人権に関わること、生活上のさまざまな悩みなど、何でもご相談ください。

< 人権・生活相談 >		< こども相談・家庭相談 >	
パーソナルサポートセンター	TEL(0857)20-4888	こども家庭相談センター	TEL(0857)20-0122
中央人権福祉センター	TEL(0857)24-8241	子育て相談ダイヤル(こども家庭相談センター)	TEL(0857)36-0505
中央人権福祉センター湖南分館	TEL(0857)54-0131	妊娠SOS相談(こども家庭相談センター)	TEL(0857)36-0506
高草人権福祉センター	TEL(0857)24-1763	家庭・女性相談(こども家庭相談センター)	TEL(0857)20-3463
江山人権福祉センター	TEL(0857)53-1542	こども発達支援センター	TEL(0857)20-3204
南人権福祉センター	TEL(0857)53-0412	こどものためのこころの相談(こども発達支援センター)	TEL(0857)26-3877
西人権福祉センター	TEL(0857)27-1064		
< 障がい者福祉相談 >			
国府人権福祉センター	TEL(0857)27-4774	障がい者支援センター「そよかぜ」	TEL(0857)22-9511
河原人権福祉センター	TEL(0858)85-0135	障がい者支援センター「しらほま」	TEL(0857)59-6036
用瀬人権文化センター	TEL(0858)87-2447	相談支援センター「サマーハウス」	TEL(0857)36-1151
佐治人権福祉センター	TEL(0858)88-0806	相談支援事業所「アブローズ」	TEL(0857)30-4635
気高人権福祉センター	TEL(0857)82-3363	地域生活支援センター「みんなの家」	TEL(0857)30-7677
人権情報センター	TEL(0857)24-3125	指定相談事業所「和貴の郷」	TEL(0858)85-3738

< 高齢者福祉相談 >	
中央地域包括支援センター	TEL(0857)20-3455
鳥取こやま地域包括支援センター	TEL(0857)32-2727
鳥取東健康福祉センター	TEL(0857)25-5021
鳥取南地域包括支援センター	TEL(0858)76-2351
鳥取西地域包括支援センター	TEL(0857)82-6571

※その他の無料相談窓口は、市報 P29 にも掲載しています。お気軽にご相談ください。



「職場体験」で感じたこと

本市では、市内の公立中学校の2年生全員を対象として、市内の事業所のご協力とご理解をいただきながら、職場体験学習を実施しています。これは、地域社会に学び、地域の人とともに「生きる力」や感謝の心を育み、課題を解決していこうとする意欲や態度、豊かな人間性を育成することを目的として行っているものです。

市役所広報室では、高草中学校2年の白野 明日香さんと岡垣愛叶さんが6月25日から28日まで4日間、職場体験をし、ケースデンキと高草あすなろを取材して、「とっとり市報」のこの1ページを作成しました。

取材のためのアポ取り、写真撮影、インタビュー、原稿作成、記事のレイアウトなど、慣れない環境の中でお願いした仕事をきちんとこなして、責任を持って紙面を作り上げてくれました。

この職場体験が、中学生一人ひとりの日常生活の振り返りとなり、社会人としての第一歩になれば幸いです。

☎ 本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159 ☎ 0857-20-3056



ケースデンキ 鳥取本店 接客の難しさ

ケースデンキはさまざまな家電製品を売っているお店です。取材に行くくと、2人の生徒からの明るいあいさつが聞こえてきました。仕事のやりがいや従業員の人と尋ねると、「やはり、お客様が喜んでいただけるのが1番」と話していただきました。体験中の生徒に向けては、「色々なことを経験させてあげたい。接客の難しさや、商品の扱いを学んで、これからは活かしてほしい」と話しておられました。

次に、体験中の生徒から職場体験で学びたいことを聞くと、「人との関わり方、丁寧な対応を学んで、仕事のやりがいを見つけない」と、答えてくれました。接客をするにあたって大切だと思うことを聞くと、「笑顔ではきはきとあいさつをすること」、「きちんとした対応をすること」と話してくれました。

戸惑いながらも、一生懸命に作業をする2人にお客様も微笑んでおられました。



商品の並べ方も工夫

高草あすなろデイサービスセンター 介護にたずさわる仕事

高草あすなろデイサービスセンターは、介護が必要な人のための事業所です。職場体験中の2人の中学生は、デイサービスの利用者にお茶を出すなど、楽しそうに会話しながらお世話をしていました。体験中の2人に職場体験で学ばないことを聞くと、「利用される方の接し方、やりがい」と、答えてくれました。また、「事業所の人や利用されている人に敬語で話すことを気を付けたい」と話してくれました。

次に、高草あすなろデイサービスセンターで働いておられる職員さんに、職場体験で学んでほしいことを尋ねると、「家族の人の介護の負担を減らす場所だということや、利用者の気持ちなどを学んでほしい」と話しておられました。また、「仕事のやりがいについて尋ねると、「喜んでもらえることややりがいを感じます」と答えてくださいました。

2人は普段と違う環境に戸惑いながらも、笑顔で頑張っていました。



お茶出しも笑顔で

深澤市長にインタビュー 鳥取市長から中学生へ

職場体験3日目に深澤市長に面会し、インタビューを行いました。まず、中学生に学んでほしいことを尋ねると、「鳥取や全国の将来を担う、大切な人材なので、色々なことを学校以外でもたくさん体験してほしい」とのことでした。次に、市長になって良かったと思ったときを尋ねると、「問題が一つ一つ解決されることで、少しずつ市政が前進したとき」と答えられました。最後に、鳥取市の魅力を尋ねると、「少し考えてみると、自然や食などの素晴らしいものがたくさんあります」と答えられました。

私たちは市長の話を聞いて、学校などの身近なことから頑張っている組んでいこうと思いました。

編集後記

この記事を作ってみて、たくさんある情報を伝わりやすく書くことは難しいと感じました。今回、色々な経験をさせていただいたことをこれからの人生に活かしていこうと思いました。(日野明日香)

今回の職場体験で、市報の1ページを作る大変さを実感することができました。体験したことをこれからの生活で活かしていけるように頑張りたいです。(岡垣愛叶)